

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 10 月 24 日(2022.10.24)

【公開番号】特開 2022-58795(P2022-58795A)
【公開日】令和 4 年 4 月 12 日(2022.4.12)
【年通号数】公開公報(特許)2022-065
【出願番号】特願 2022-12508(P2022-12508)
【国際特許分類】

A 4 7 L 15/42(2006.01)

10

【F I】

A 4 7 L 15/42

B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 14 日(2022.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面に前面開口部を有する筐体と、
前記筐体内に出し入れ可能に設けられ、食器を収容する食器かごと、
前記前面開口部を覆う扉体を含む移動部と、
前記移動部を、前後に移動可能な状態で前記筐体に支持する支持機構と、
前記移動部を少なくとも前方向または後方向に移動させる駆動部を有する駆動装置と、
少なくとも前記扉体に加えられた振動を検知するセンサと、
前記駆動部の駆動を制御する制御部と、
前記扉体が閉じられたことを検知するドア閉検知センサと、を備え、
前記制御部は、前記センサから所定の信号を受けたときに前記駆動部を駆動するように構成された食器洗い機であって、
前記制御部は、前記ドア閉検知センサによる前記扉体が閉じられた信号を検知したとき、
前記ドア閉検知センサの信号を検知してから所定時間 T 3 の間、振動を検知する前記センサからの信号を検知しない、ように構成される食器洗い機。

30

【請求項 2】

前面に前面開口部を有する筐体と、
前記筐体内に出し入れ可能に設けられ、食器を収容する食器かごと、
前記前面開口部を覆う扉体を含む移動部と、
前記移動部を、前後に移動可能な状態で前記筐体に支持する支持機構と、
前記移動部を少なくとも前方向または後方向に移動させる駆動部を有する駆動装置と、
少なくとも前記扉体に加えられた振動を検知するセンサと、
前記駆動部の駆動を制御する制御部と、
前記扉体が閉じられたことを検知するドア閉検知センサと、を備え、
前記制御部は、前記センサから所定の信号を受けたときに前記駆動部を駆動するように構成された食器洗い機であって、
前記制御部は、前記ドア閉検知センサによる前記扉体が閉じられた信号を検知したとき、
前記ドア閉検知センサの信号を検知してから所定時間 T 3 の間、振動を検知する前記センサからの信号を検知しても前記駆動部の駆動を保留する、ように構成される食器洗い機。

40

【請求項 3】

50

使用者に動作状況を知らせる報知部を備え、

前記制御部は、前記ドア閉検知センサによる前記扉体が閉じられた信号を検知した状態で、前記扉体が開けられる前方向に前記駆動部を駆動してから所定時間 T 4 の間、前記ドア閉検知センサの信号が検知されたままの場合、前記扉体が動いていないことを報知するように構成される請求項 1 または 2 に記載の食器洗い機。

【請求項 4】

前記制御部は、前記扉体が動いていないことの報知が所定回数繰り返されたとき、異常発生として報知するとともに、それ以上の駆動を停止するように構成される請求項 3 に記載の食器洗い機。

【請求項 5】

使用者に動作状況を知らせる報知部を備え、

前記制御部は、前記扉体が閉じられる後方向に前記駆動部を駆動し、前記駆動部が停止したことを検知したにもかかわらず、前記ドア閉検知センサの信号が検知されないとき、前記扉体が完全に閉じていないことを報知するように構成される請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の食器洗い機。

【請求項 6】

前記制御部は、前記扉体が完全に閉じていないことの報知が所定回数繰り返されたとき、異常発生として報知するとともに、それ以上の駆動を停止するように構成される請求項 5 に記載の食器洗い機。

10

20

30

40

50